

御嵩町公告契約第24号

下記の工事について、事後審査型条件付き一般競争入札を行うので、御嵩町契約規則(昭和39年御嵩町規則第7号)第2条及び第3条の規定に基づき次のとおり公告する。

令和8年6月17日

御嵩町長 渡辺 幸伸

1. 入札に関する事項

- (1) 仕様書番号 御垂工第8-4号
- (2) 工事名 南海トラフ巨大地震旧鉱物採掘区域防災対策事業  
第1期・第4期防災工事
- (3) 履行等場所 御嵩町 御嵩 地内
- (4) 工事概要
- 【基本設計 二層端部限定充填工法】  
空洞充填工事(第1期) 一式(対策面積 A=10,400m<sup>2</sup>)  
削孔工 充填孔 N=120箇所 調査孔 N=7箇所  
充填工 端部充填工 V=932m<sup>3</sup> 第2端部充填工 V=879m<sup>3</sup>  
中詰充填工 V=4,834m<sup>3</sup>  
仮設充填設備工 一式  
空洞充填工事(第4期) 一式(対策面積 上層:A=38,800m<sup>2</sup>、下層:  
20,600m<sup>2</sup>)  
削孔工 充填孔 N=520箇所 調査孔 N=21箇所  
充填工 端部充填工 V=3,670m<sup>3</sup> 第2端部充填工 V=3,624m<sup>3</sup>  
中詰充填工 V=51,128m<sup>3</sup>  
仮設充填設備工 一式
- 【参考設計 流動化処理工法】  
空洞充填工事(第1期) 一式(対策面積 10,400m<sup>2</sup>)  
削孔工 充填孔 N=82箇所 調査孔 N=6箇所  
充填工 端部充填材 B V=2,115m<sup>3</sup> 中詰充填材 V=4,532m<sup>3</sup>  
仮設充填設備工 一式  
空洞充填工事(第4期) 一式(対策面積 上層:A=38,800m<sup>2</sup>、下層:  
20,600m<sup>2</sup>)  
削孔工 充填孔 N=366箇所 調査孔 N=17箇所  
充填工 端部充填材 B V=8,237m<sup>3</sup> 中詰充填材 V=50,280m<sup>3</sup>  
仮設充填設備工 一式
- (5) 履行期間 契約締結日 から 令和10年9月29日 まで
- (6) 予定価格 事後公表
- (7) 低入札調査価格 あり
- (8) 失格判断基準 あり
- (9) 最低制限価格 無し
- (10) 内訳書の提出 必要※内訳書の提出がない場合、入札は無効となりますので、ご注意ください。
- (11) 入札保証金 免除

- (12) 入札方法 【電子入札】  
 なお、電子入札システムによりがたい者は、発注者の承諾を得た場合に限り書面で提出することができます。
- (13) 契約方法 本契約は原則、電子契約にて行います。
- (14) 余裕期間設定工事 非該当
- (15) 仮契約 あり

## 2. 入札参加資格

本工事は、単体又は特定建設工事共同企業体（以下「共同企業体」という。）による一般競争入札とする。

i) 本工事の入札に単体で参加する者に必要な資格は、次のとおりとする。

必要な建設業の許可					
土木工事業					
業種及び総合点数					
業種：工事請負【土木一式】					
・御嵩町競争入札参加資格者名簿において、上記の営業品目の登録があること。					
・本工事の公告日において、建設業法（昭和24年法律第100号）に規定する上記業種について、下記の地域区分ごとの総合評定値を満たしていること。					
	町内A	町内B	可茂	県内	県外
	750点以上	750点以上	1,000点以上	1,200点以上	1,200点以上
施工実績に関する条件					
過去に元請けとして単体企業または共同企業体で、国・特殊法人・地方公共団体・地方公社・公益法人・土地区画整理組合が発注した地下空洞の充填工事の施工実績(1,000 m <sup>3</sup> 以上)を1件以上有すること。ただし、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率40%以上の場合のものに限る。					
※地下空洞とは、垂炭採掘空洞や特殊地下壕など人工的に造られた空洞をいう。					
配置技術者に関する条件					
この工事に対応する主任技術者又は監理技術者を建設業法の規定に従い適切に施工現場に配置できること。					
事業所の所在地に関する条件					
御嵩町競争入札参加資格者名簿（工事請負）において、岐阜県、愛知県又は三重県内のいずれかの営業所等が登録されていること。					
設計業務等の受託者等					
該当なし					
その他の条件					
(1) 仕様書及び特記仕様書に定める事項を履行できるものであること。					
(2) 本件の入札に係る契約締結は、本工事に係る「岐阜県南海トラフ巨大地震旧鉱物採掘区域防災対策事業費補助金（地盤ぜい弱性調査及び防災工事分）」交付要綱第8条第2項の規定による計画変更申請が承認され、かつ地方自治法（昭和22年法律第67号）第96条第1項第5号及び御嵩町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和39年条例第6号）第2条の規定により議会の議決を受けた場合に限り、締結するものであ					

る。発注者及び受注者は、仮契約後相当の期間を経過してもなお本契約の締結の見込みがないときは、双方の協議により仮契約を解除することができる。なお、上記に伴い、受注者に損害が生じた場合であっても、町はその損害について一切の責任を負わないものとする。

- (3) 地方自治法施行令（昭和 22 年政令第 16 号）第 167 条の 4 の規定に該当しないこと。
- (4) 御嵩町競争入札参加資格停止措置要領（平成 4 年訓令甲第 8 号）に基づく資格停止期間中でないこと。
- (5) この業務に対応する各技術者を建設業法の規定に従い適切に配置できること。
- (6) 法人町民税その他の地方税を滞納していないこと。
- (7) 会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）第 17 条第 1 項の規定による更生手続開始の申立てをしている者でないこと又は同条第 2 項の規定による更生手続開始の申立てをなされていないこと。
- (8) 民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）第 21 条第 1 項の規定による再生手続開始の申立てをしている者又は同条第 2 項の規定による再生手続開始の申立てをなされている者でないこと。
- (9) 御嵩町から、「御嵩町が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱（平成 22 年訓令甲第 41 号）」に基づく入札参加資格停止措置を、競争入札参加資格確認申請期限日から入札の日までの期間内に受けていないこと。又は同要綱別表に掲げる措置基準に該当しないこと。

**参加資格確認書類（落札候補者のみ）**

落札候補者となった者は、以下の書類を期日までに提出すること。

- ・事後審査型条件付き一般競争参加資格確認申請書

以下、附属書類

- ・営業所等の状況調書（登録外の営業所等での申請の場合のみ必要）
- ・入札参加資格条件に定める施工実績調書

ii) 本工事の入札に共同企業体で参加する者に必要な資格は、次のとおりとする。

**入札参加条件**

構成員の出資比率等に関する要件として、共同企業体の構成員の数は 2 社又は 3 社で、結成は自主結成とする。また、構成員各々の出資比率は、2 社の場合は 30%以上、3 社の場合は 20%以上であること。

**必要な建設業の許可**

土木工事業

**業種及び総合評定値**

業種：工事請負【土木一式】

- ・御嵩町競争入札参加資格者名簿において、上記の営業品目の登録があること。
- ・本工事の公告日において、建設業法に規定する上記業種について、代表構成員（その出資比率が構成員のうち最大である者）、その他構成員ともに下記の地域区分ごとの総合評定値を満たしていること。また、上記業種について、同法に規定する許可を受けて 3 年以上営業していること。

町内A	町内B	可 茂	県 内	県 外
750 点以上	750 点以上	1,000 点以上	1,200 点以上	1,200 点以上

**施工実績に関する条件**

代表構成員は、過去に元請けとして単体企業または共同企業体で、国・特殊法人・地方公共団体・地方公社・公益法人・土地区画整理組合が発注した地下空洞の充填工事の施工実績（1,000 m<sup>3</sup>以上）を 1 件以上有すること。ただし、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率 40%以上の場合のものに限る。

※地下空洞とは、亜炭採掘空洞や特殊地下壕など人工的に造られた空洞をいう。

配置技術者に関する条件	
	この工事に対応する主任技術者又は監理技術者を建設業法の規定に従い適切に施工現場に配置できること。
事業所の所在地に関する条件	
	代表構成員及びその他構成員は、御嵩町競争入札参加資格者名簿（工事請負）において、岐阜県、愛知県又は三重県内のいずれかの営業所等が登録されていること。
設計業務等の受託者等	
	該当なし
その他の条件	
	<p>(1) 仕様書及び特記仕様書に定める事項を履行できるものであること。</p> <p>(2) 本件の入札に係る契約締結は、本工事に係る「岐阜県南海トラフ巨大地震旧鉱物採掘区域防災対策事業費補助金(地盤ぜい弱性調査及び防災工事分)」交付要綱第8条第2項の規定による計画変更申請が承認され、かつ地方自治法(昭和22年法律第67号)第96条第1項第5号及び御嵩町議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例(昭和39年条例第6号)第2条の規定により議会の議決を受けた場合に限り、締結するものである。発注者及び受注者は、仮契約後相当の期間を経過してもなお本契約の締結の見込みがないときは、双方の協議により仮契約を解除することができる。なお、上記に伴い、受注者に損害が生じた場合であっても、町はその損害について一切の責任を負わないものとする。</p> <p>(3) 地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4の規定に該当しないこと。</p> <p>(4) 御嵩町競争入札参加資格停止措置要領(平成4年訓令甲第8号)に基づく資格停止期間中でないこと。</p> <p>(5) この業務に対応する各技術者を建設業法の規定に従い適切に配置できること。</p> <p>(6) 法人町民税その他の地方税を滞納していないこと。</p> <p>(7) 会社更生法(平成14年法律第154号)第17条第1項の規定による更生手続開始の申立てをしている者でないこと又は同条第2項の規定による更生手続開始の申立てをなされていないこと。</p> <p>(8) 民事再生法(平成11年法律第225号)第21条第1項の規定による再生手続開始の申立てをしている者又は同条第2項の規定による再生手続開始の申立てをなされている者でないこと。</p> <p>(9) 御嵩町から、「御嵩町が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱(平成22年訓令甲第41号)」に基づく入札参加資格停止措置を、競争入札参加資格確認申請期限日から入札の日までの期間内に受けていないこと。又は同要綱別表に掲げる措置基準に該当しないこと。</p>
参加資格確認書類（落札候補者のみ）	
	<p>落札候補者となった者は、以下の書類を期日までに提出すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定建設工事共同企業体入札参加資格審査申請書</li> <li>・ 特定建設工事共同企業体構成員表</li> <li>・ 特定建設工事共同企業体協定書</li> <li>・ 同種工事の施工実績調書</li> <li>・ 共同企業体結成権限等の委任状（支店長等へ委任する場合のみ必要）</li> <li>・ 構成員から代表構成員への権限の委任状</li> </ul>

### 3. 担当課

区分	担当課名	電話番号	所在地
入札担当課	御嵩町総務部総務課財政係	0574-67-2111（内線2214）	〒505-0192
業務担当課	御嵩町建設部 亜炭鉱廃坑対策室	0574-67-2111（内線2232）	可児郡御嵩町御嵩 1239-1

#### 4. 入札日程

手続等	期間・期日	方法・場所
設計図書の閲覧	令和8年6月17日(水) 午後4時から 落札決定した日まで	御嵩町ホームページ又は電子入札システムからダウンロード
質疑の受付	令和8年6月17日(水) 午後4時から 令和8年6月23日(火) 正午まで	ホームページ上の入力フォームによる方法
回答書の閲覧	回答対応したものから順次、御嵩町ホームページにて	
入札参加申請	令和8年6月17日(水) 午後4時から 令和8年6月26日(金) 午後4時まで	電子入札システムによる申請 ・【事後審査型条件付き一般競争入札参加申請書(工事)】 又は ・【事後審査型条件付き一般競争入札参加申請書(特定建設工事共同企業体)】 を提出
参加資格の確認	令和8年6月29日(月) 午前9時から	電子入札システムによる
入札書提出受付	令和8年6月30日(火) 午前9時から 令和8年7月1日(水) 午後4時まで	電子入札システムによる
開札	令和8年7月2日(木) 午前9時から	電子入札システムによる
落札候補者の参加資格確認書類提出	令和8年7月6日(月) 午後4時まで	入札担当課まで持参又は郵送

※紙入札者の場合は、各書類の提出は持参のみとし、郵送又は電送によるものは受け付けません(期間・期日は同じ)。

※質疑の受付(町HP > 事業者の方 > 入札情報 > 入札に係る質問方法について)

※開札時の立会いは不要ですが、希望される場合は事前に入札担当までご連絡ください。

※落札結果については、開札日中に落札者へのみ電話にて通知します。また、HPへの結果公表については、原則開札日の翌週中に行います。

#### 5. 入札参加資格の事後審査に関する事項

- (1) 開札後、落札決定を保留し、入札参加者のうち予定価格と低入札調査価格又は最低制限価格の範囲内で有効な最低の価格をもって入札を行った者(以下「落札候補者」という。)に対し、入札参加資格確認に必要な書類(以下「確認申請書等」という。)の提出を求め、入札参加資格の確認を行う。
- (2) 確認申請書等は、指定された期日までに発注者に提出しなければならない。
- (3) 入札参加資格を有する者が、当該入札日(開札)までに入札参加資格を満たさなくなった場合は、当該入札に参加できないものとする。
- (4) 入札参加申請を取り下げようとする者は、入札(開札)日の前日までに御嵩町総務課に理由を記載した書面を提出すること。

#### 6. 余裕期間設定工事

余裕期間設定工事の場合、次の各号を適用する。

- (1) 本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、発注者が示した工事開始期限日までの間で、受注者は工事開始日を任意に設定することができる。
- (2) 工事開始日は、休日を指定することはできない。工期の末日が休日となる工事開始日の設定もできない。

- (3) 受注者は、落札決定日の翌日から起算して3日以内に、発注者が指定する様式により、工事開始日を通知すること。
- (4) 余裕期間は、主任技術者又は監理技術者、現場代理人を設置することを要しない。
- (5) 余裕期間は、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入、仮設物の設置等、工事に着手してはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。
- (6) 低入札価格調査等により、工事開始期限日以降に契約を締結することとなった場合には、余裕期間を設定することはできない。

## 7. その他

- (1) 天災その他やむを得ない理由により、入札又は開札を行うことができないときは、これを中止する。また、入札者が一人だけの場合は、入札を中止することがある。これらの場合における損害は、入札者の負担とする。
- (2) 申請書の提出、設計図書等の閲覧等の手続は、上記入札日程のうち、日曜日、土曜日、祝日その他役場の休日を除く日とする。(電子入札にあっては、電子入札システムによる。)
- (3) 低入札価格調査の基準となる価格を設定した場合は、予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって入札をした者の当該入札価格によってはその者により当該契約の内容に適合した履行が確保できないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、その者を落札者とせず、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札をした他の者のうち、最低の価格をもって入札をした者を落札者とすることがある。
- (4) 関係様式は、御嵩町ホームページからダウンロードするか、御嵩町総務課窓口で配布を受けること。

## ※注意事項

- (1) 「町内業者A」とは、御嵩町内に本店を有する者のうち、建設業法第3条第1項の許可を受けてから御嵩町内における営業年数が3年以上あり、かつ、御嵩町競争入札参加資格審査要領(平成16年訓令甲第18号)第7条第1項に規定する名簿(以下「資格者名簿」という。)に登載されている者をいう。
- (2) 「町内業者B」とは、御嵩町内に従業員を常勤させている営業所(建設業法第3条第1項に規定する営業所であって、本店以外のものをいう。以下同じ。)を置いている者のうち、建設業法第3条第1項の許可を受けてから御嵩町内における営業年数が3年以上あり、かつ、資格者名簿に登載されている者をいう。
- (3) 「可茂地区業者」とは、可児市、美濃加茂市及び加茂郡内に本店又は営業所を置いている者のうち、建設業法第3条第1項の許可を受けてから、それぞれの市町村における営業年数が3年以上あり、かつ、資格者名簿に登載されている者をいう。
- (4) 「県内業者」とは、岐阜県内に本店又は営業所を置いている者であって、町内業者及び可茂地区業者以外の者のうち、建設業法第3条第1項の許可を受けてから、岐阜県内における営業年数が3年以上あり、かつ、資格者名簿に登載されている者をいう。
- (5) 「県外業者」とは、岐阜県外に本店又は営業所を置いている者であって、町内業者及び可茂地区業者及び県内業者以外の者のうち、建設業法第3条第1項の許可を受けてから、岐阜県外における営業年数が3年以上あり、かつ、資格者名簿に登載されている者をいう。